

令和2年度・事業所による自己評価結果

事業所：ハッピーハート寺地 事業：放課後等デイサービス 回答数：7

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	自分が工夫している点 自分の課題や改善する点	課題又は改善目標
環境・体制整備	1 活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせ、安全性が配慮された空間となっているか。	7			・感染予防の観点から以前よりも徹底した消毒、環境整備に配慮している。	
	2 職員の配置数は適正であるか。	2	3	2		・職員全員で振り返り、検討しながら取り組んでいきます。職員が安心して支援につけるよう努めていきます。
	3 子どもや保護者への支援や対応に困った時、相談できる体制が整っているか。	7			・話し合う場面の設定など報告し合うようにしている。常に信頼関係作りに努めている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員は参画しているか。	7				
	5 前年度の保護者向けアンケートや、面談による保護者の意向等を把握し業務改善にいかしているか。	7				
	6 接遇（言葉使い・挨拶等）、身だしなみを意識して業務に就いているか。	7			・気を付けているが、結果がない為どう伝わっているかわからない部分もある。 ・自分なりに意識しているが、何が正しいのかわからない面もあるので接遇のスキルアップ研修等受けてみたい。	
適切な支援の提供	7 職員の資質の向上を行うために、組織として研修の機会を確保しているが、意欲的に参加しているか。	7			・色々な人の話を聞くチャンスなので意欲的に参加しようと思う。	
	8 面談等を適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成していると思われるか。	7			・必要に応じて利用児にも参加してもらい、本人、保護者とニーズや課題の共有を行い、その上で分析、作成を行う場合もある。 ・それぞれに意見を出し合うことで利用児の成長に合わせた計画を作れていると思う。	
	9 個別支援計画を周知し、子どもと保護者のニーズや課題を理解しているか。	7			・経過記録の記入時に常に支援計画を確認している。	
適切な支援の提供	10 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成しているか。また、指導員は計画を意識し、支援や活動内容の意図を理解し支援しているか。	7			・どのような意図がある計画がしっかり確認し合い理解できるように意識している。 ・支援計画を基に、どのような個別にしたらいいかなど話し合い支援につなげている。	
	11 事業所全体で、子どもへの共通理解を持って支援にあたるよう努めているか。	7			・迷ったときは相談しやすい場を作るよう心掛け出来ていると思う。	
	12 活動プログラムはチームで立案を行っているか。	6	1		・担当者がプログラムを作成後、職員全体で検討し、活動内容の決定を行っている。	・全職員でのミーティングは難しいこともありませんが、今後も活動内容を共有し立案できるよう努めていきます。
適切な支援の提供	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1			・活動プログラムの立案の段階で、固定化してないか、より一層、意識して取り組んでいます。
	14 支援を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を意識して行っているか。	6	1			・職員全体で意識していけるよう、また、意識して行っている自信を持ってもらえるよう努めていきます。
	15 平日、長期休暇等に応じて、活動内容を設定し、支援しているか。	7				
適切な支援の提供	16 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7				
	17 支援終了後には、職員間で話し合いをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1			
	18 支援内容や状況等を正しく記録に残し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
関係機関や保護者との連携	19 相談支援事業所のモニタリングや、支援会議等に、子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	7				
	20 児童発達支援センターや発達障害者支援センター（JOIN）等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2		5	・今年度は受けていないが機会があれば受けたい。	・機会があれば、職員全員で研修に参加していきたいです。
	21 以前まで利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、または学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		・見学の際より情報共有を図り、ご利用が決まった段階で面談等に参加し詳しく情報共有、理解を図っている。 ・児発管より申し送りがあるので、様子を知ることができる。	
関係機関や保護者との連携	22 学校や障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	1	・現在機会はないが、保護者にはいつでも提示する旨は伝えている。 ・記録をこまめに残し移行しやすい環境作りが出来ている。	・事例が生じた場合には、その旨を職員全体で共有していきます。
	23 保育園や学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			・不明な点がある時は保護者や学校にも早めに確認をし、トラブルを未然に防げるよう意識している。	

携	24	保育所や認定こども園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	1	1	5		・今年度はコロナ禍の中、取り組みずにはいませんでしたが、状況に合わせて、積極的に機会を作っていきたいと思います。
	25	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				・送迎時、面談時、必要に応じて電話にて、状況を伝え共通理解に努めている。
	26	支援の内容、利用者負担等について、質問があった際、誠意ある対応、丁寧な説明を行っているか。	7				
保護者への説明責任等	27	個別支援計画は、支援の内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか。	7				・児発管が、面談はもちろんお渡しする際も説明している。 ・説明する時間をもらい説明している。
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	2			・相談には、その場での返答ではなく職員全体で検討した後、常に真摯に受け止め対応させていただいています。相談があった際の対応について定期的に確認していきます。
	29	子どもや保護者からの相談・申入れがあった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	30	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定等を子どもや保護者に対して発信しているか。	7				・お便りでは活動の内容が白黒、小さいサイズでも伝わるような写真を選んで作成している。
	31	個人情報に十分注意しているか。	7				
	32	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために、伝わりやすいよう配慮をしているか。	7				
非常時等の対応	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1			・感染症予防の観点から交流の場は設けていないが、その中でもコミュニケーションは充分工夫して保つことに努めている。 ・工夫し、この時期でもできる活動を考えている。
	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	6	1			・定期的に、職員全体に周知していきます。
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	7				
	36	緊急時対応、防犯、感染症対応のマニュアルを策定し、職員に周知しているか。	6	1			・各非常時の対応について、職員全体の周知に努めていきます。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7				・訓練時の子どもたちの様子、曜日によっての違い、それに合わせての職員の動きなど、様々な視点から訓練を行っています。これからも定期的に行っていきます。
	38	虐待を防止するため、虐待チェックアンケートや、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				・3か月に1度行うチェックシートを記入することで自分を見直している。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載しているか。	4	2	1		・職員一人一人が今後も不安なく支援に取り組んでいけるよう、その都度職員全員で振り返り検討しながら取り組んでいきます。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	7				・事例集を作成し、報告と対応策の検討をしている。 ・危険があった時には記入し報告、どのような支援が必要だったのか振り返っている。

ハッピーハート寺地

- ・支援内容や子どもたちに関しての情報を共有していけるよう、朝礼・終礼時や会議録（日誌）の記載などで伝え合う機会を設けています。子ども達の様子・支援に当たったの思いなど共有していこうという意識も、職員一人一人高まっているのを感じます。その思いに応えられるよう、今後一層丁寧に伝え合うことを大切にしていこうと思います。
- ・地域交流・研修会に積極的に取り組んできました。大切にしていきたい取り組みだと職員全員が感じてくれていることを心強く感じます。社会の状況に合わせて、できる範囲で取り組み、子どもたちへのより良い支援に、繋げていきたいと思っています。
- ・子どもたちにとっても保護者様にとっても職員にとっても、笑顔で過ごせる場でありたいという思いを、職員一人一人がしっかり持ってくれているのを感じます。職員が心身共に健全に、今後もその思いを支援にしっかり反映できる場であるよう努めていきたいと思っています。